JHL NEWS

No.13
2009年11月30日
●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話　03-3481-2494

大同が独走態勢固める！ 車体は６連勝で２位浮上

～第34回日本ハンドボールリーグ･第12週～

第34回日本ハンドボールリーグ第12週は、11月28日愛知などで男子３試合が行われ、大同特殊鋼が湧永製薬の挑戦を29－25と退けて開幕からの連勝を10に伸ばした一方、２位争いで注目されたトヨタ車体－大崎電気戦は車体が30－22と快勝した。そのほか豊田合成が琉球コラソンを33－29で破った。

宮崎での湧永－大同戦は、開始８分までに５－１と好スタートを切った大同に対し、湧永も福田のロングシュートなどで11分に４－５と１点差まで追い上げ、その後は一進一退の展開が続いた。大同・白の個人技を活かした攻めを、湧永は頻繁にポジションチェンジをするディフェンスでしのぎ、25分11－13の２点ビハインドから谷村、坂本の連打で同点に追いつき、さらに前半終了間際に新の速攻が決まって14－13と１点リードで折り返した。後半も大同・高木、湧永・松村と両ＧＫの好守の応酬でゲームが引き締まり、両チームのディフェンスが機能し始めたが、５分15－15の場面から大同は湧永・武藤が退場した間に武田、山城、末松で３連打をマークすると、その後も相手ミスを速攻に結びつける得意のパターンで12分21－16と混戦を抜け出した。これで試合の主導権を握った大同は、湧永必死の反撃で22分22－24と２点差まで肉薄されたが、このピンチにＧＫ高木がファインセーブを連発して失点を防ぎ、山城、武田らの４連取で湧永を突き放した。残り５分を切ってから、湧永は福田、古家の連打で追い上げるものの、すでに試合の大勢は決まったあと。29－25で勝利した大同が貫禄の10連勝を飾った。

現在２位の大崎と３位の車体が激突した一戦は、大崎が内田の速攻による得点で先行すると車体も門山のロングシュートなどで応戦、前半10分５－５と両チーム持ち味を発揮した接戦となった。その後も車体はカットイン、大崎はポストを中心に得点を重ね、20分過ぎから相手のミスを速攻につなげた大崎が、香川らで食い下がる車体に13－12と１点差をつけて前半を折り返した。後半に入っても一進一退の攻防が続くが、車体が徐々にリズムをつかみ後半10分には19－15と４点リード。このあと車体は退場者を出すも、ヘッドコーチ兼任の野村が２連続速攻を決めて完全にペースをつかんだ。大崎は17分17－24と７点差をつけられたところでタイムアウトを取ったが、車体の勢いを止めるまでに至らず、再三の得点チャンスも車体・ＧＫ坪根に阻まれ、車体の快勝に終わった。６連勝の車体は大崎に代わって２位に浮上した。

合成－琉球戦は、両チームとも３：２：１ディフェンスでアグレッシブなゲーム展開。合成は今村のカットイン、中村のポストプレーで琉球ディフェンスを崩し、さらには速攻により効果的に加点していった。一方の琉球はクイックスタートを仕掛けるが合成の好ディフェンスの前になかなかパスがつながらず、思うように加点できないまま前半は16－11と合成５点リードで終了。後半出だし、琉球に退場者が相次ぐ中、合成は森光、今村が着実にシュートを決め、15分過ぎには27－17と10点差までリードを広げた。琉球は志慶真のサイドシュートなどで食い下がり、終盤７連続ゴールを奪う意地を見せたが、合成は中盤過ぎの大量リードもあって余裕のタイムアップとなった。

次週は男子２試合が行われ、全勝の大同は４年ぶりのプレーオフ進出に意欲を燃やすトヨタ紡織九州の挑戦を受ける。前回リーグでは唯一黒星をつけられた相手だけに油断はできない。上位浮上を狙う湧永は北陸電力相手に確実に白星をマークしたいところだ。

㊤後半貴重なゴールを決めた大同特殊鋼・山城㊦果敢なプレーで６連勝を呼び込んだトヨタ車体・銘苅

第13週の日程

12月5日(土)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道「観音町」下車徒歩5分)	13:00～	(男)	北陸電力×湧永製薬
12月6日(日)	佐賀	神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	15:00～	(男)	トヨタ紡織九州×大同特殊鋼

◆ 11月28日(土)　男 子
愛知・稲沢市総合体育館

豊田合成 2勝2分6敗　33 (16−11, 17−18) 29　琉球コラソン 1勝1分7敗

	0/ 0	榊　原	久　高	0/ 0	
	0/ 0	原	村　山	2/ 3	2/2
	0/ 2	大　橋	水野矢	0/ 2	
	4/ 4	桶　谷	東	7/14	
0/1	5/11	中　島	玉　城	0/ 0	
0/1	4/ 6	森　光	池　田	1/ 1	
	K	藤　田	志慶真	10/14	
	11/16	今　村	内　田	K	
	6/ 9	中　村	内　山	1/ 2	
	3/ 9	芳　仲	高　田	2/ 3	
〈0/2〉	K	藤　堂	石　田	K	〈2/2〉
	0/ 0	米　本	水野紀	4/ 5	
	0/ 0	前　田			
	0/ 0	畠　中			

0/2　33/57　15(FPP)13　27/44　2/2
審判（北嶋・比留間）　観客　643人

◆ 11月28日(土)　男 子
愛知・知立市福祉体育館

トヨタ車体 7勝0分3敗　30 (12−13, 18− 9) 22　大崎電気 6勝1分3敗

〈0/1〉	K	木　下	浦　和	K	
	4/ 5	佐々木	小　澤	4/ 6	
	4/ 7	高　智	中　川	1/ 2	
	0/ 0	安　藤	豊　田	2/ 6	2/2
	2/ 2	野　村	望　月	2/ 2	
	0/ 2	藤　田	永　島	2/ 2	
	0/ 0	髙　木	太　田	0/ 2	
	0/ 0	北　出	横　地	2/ 3	
	0/ 0	小　沢	東	K	〈0/2〉
	5/ 6	鶴　谷	森	3/ 7	
〈0/1〉	K	坪　根	岩　永	1/ 6	
	2/ 4	香　川	夏　山	0/ 0	
2/2	5/ 9	銘　苅	内　田	3/12	
	6/11	門　山	猪　妻	0/ 1	

2/2　28/46　4(FPP)7　20/49　2/2
審判（池渕・檜崎）　観客　848人

◆ 11月28日(土)　男 子
宮崎・小林市市民体育館

大同特殊鋼 10勝0分0敗　29 (13−14, 16−11) 25　湧永製薬 4勝1分3敗

	K	田　中	志　水	K	
	0/ 2	野　村	谷　村	5/ 9	
	6/ 9	末　松	木　村	0/ 0	
	0/ 0	浦　田	坂　本	2/ 4	
	5/ 7	地　引	山　中	1/ 2	
	6/ 9	武　田	福　田	3/ 7	
	3/ 5	岸　川	吉　田	0/ 0	
	K	高　木	名　嘉	0/ 0	
	0/ 0	千々波	新	4/ 5	
	4/ 6	山　城	武　藤	2/ 6	
〈0/1〉	K	東	今　井	3/ 3	
	5/10	白元喆	松　村	0/ 1	
	0/ 0	松　永	古　家	2/ 5	
	0/ 1	渡久川	東長濱	2/ 6	1/1

0/0　29/49　5(FPP)6　24/48　1/1
審判（家永・福島）　観客　1025人

湧　永　製　薬

創部40周年迎えて新たな誓い

今年、湧永製薬ハンドボール部は、応援してくださる皆さまのおかげで創部40周年を迎えることができました。

思いおこせば、1969年に大阪で部員８名からスタートし、1976年には現在の拠点である広島県安芸高田市甲田町に移転しました。成績では、1983年と1990年に２度の四大大会制覇を達成（全日本実業団、国民体育大会、全日本総合、日本リーグ）。1979年から1985年までの全日本総合選手権７連覇など、40年間で獲得したタイトル数は全部で54個（うち日本リーグは８回優勝）と輝かしい歴史を築いてきました。

また、成績を追い求めるだけではなく、地域社会に密着した活動も併せて続けてきました。30年以上続けている地元での小・中学生を中心とした指導では昨年待望の地元選手（坂本伸博選手）が入部しました。湧永満之記念体育館で試合があれば、常に会場が満員になるほど地域の方に愛されるチームにもなりました。

今シーズンは、近年遠ざかっている日本リーグのタイトル獲得に向けて、チーム一丸となって戦っていきます。皆さまのご声援よろしくお願いいたします。

20年前の集合写真

ソニーセミコンダクタ九州

応援ブログ Three GOAL

はじめまして。BLUE SAKUYAの編集長Winです。

ソニーグループには３つのスポーツチームがあるのはご存知でしょうか？

ソニー(株)仙台テック:男子フットボール「ソニー仙台」

ソニーEMCM(株)稲沢テック:女子ホッケー「BRAVIA Ladies」

ソニーセミコンダクタ九州(株):女子ハンドボール部「BLUE SAKUYA」

この３チームにてソニーグループの応援ブログ『Three GOAL』をスタートいたしました。試合結果はもちろん選手のプライベート等、普段聞けない内容まで書かれています。BLUE SAKUYAのブログ（BLUE SAKUYA感動が舞うコートへ）の見所は、選手がお題を決め、リレー形式で掲載する「知っとくコラム」。

・あの時のあの試合、あのPlay
・体力・健康維持のために、食生活で気を遣っていること
・お気に入りのソニー製品

これまでに掲載された内容は上記ですが、リクエストがあれば編集長Winまで。12月からは３チーム連動のアンケート企画もスタートいたしますのでお楽しみに！

Three GOAL
http://www.plus-blog.sportsnavi.com/threegoal/

男女個人ランキング　第12週終了

得点王

	《男子》				《女子》			
1	末松　誠	（大同特殊鋼）	81 点	(10試合)	上町　史織	（北國銀行）	79 点	(9試合)
2	門山　哲也	（トヨタ車体）	71 点	(10試合)	郭　惠靜	（ソニー）	61 点	(9試合)
3	今村　彰伸	（豊田合成）	57 点	(10試合)	植垣　暁恵	（メイプルレッズ）	57 点	(9試合)
4	豊田　賢治	（大崎電気）	55 点	(10試合)	藤井　紫緒	（オムロン）	55 点	(7試合)
5	神田　友和	（北陸電力）	54 点	(10試合)	横嶋かおる	（北國銀行）	54 点	(9試合)
6	武田　亨	（大同特殊鋼）	51 点	(9試合)	伊藤亜衣美	（バイオレットアイリス）	54 点	(9試合)
7	中畠　嘉之	（トヨタ紡織九州）	50 点	(9試合)	髙橋　恵	（ソニー）	51 点	(9試合)
8	銘苅　淳	（トヨタ車体）	48 点	(10試合)	高栖　由香	（ソニー）	42 点	(9試合)
8	志慶真龍我	（琉球コラソン）	48 点	(9試合)	髙田　裕梨	（オムロン）	38 点	(9試合)
10	小澤　広太	（大崎電気）	46 点	(10試合)	洪　廷昊	（オムロン）	37 点	(9試合)
11	白　元喆	（大同特殊鋼）	44 点	(10試合)	桂　裕美子	（バイオレットアイリス）	37 点	(9試合)
12	村山　裕次	（琉球コラソン）	43 点	(9試合)	菅谷　美奈	（ＨＣ名古屋）	37 点	(9試合)
13	森光　勇太	（豊田合成）	42 点	(10試合)	若松　里佳	（北國銀行）	36 点	(9試合)
13	落合　信也	（北陸電力）	42 点	(10試合)	工藤　麻衣	（ソニー）	34 点	(9試合)
13	東長濱秀作	（湧永製薬）	42 点	(8試合)	仲宗根　彩	（北國銀行）	32 点	(9試合)

フィールド得点

1	末松　誠	（大同特殊鋼）	73 点	(10試合)	郭　惠靜	（ソニー）	61 点	(9試合)
2	門山　哲也	（トヨタ車体）	71 点	(10試合)	上町　史織	（北國銀行）	58 点	(9試合)
3	今村　彰伸	（豊田合成）	57 点	(10試合)	横嶋かおる	（北國銀行）	54 点	(9試合)
4	神田　友和	（北陸電力）	54 点	(10試合)	伊藤亜衣美	（バイオレットアイリス）	43 点	(9試合)
5	武田　亨	（大同特殊鋼）	51 点	(9試合)	高栖　由香	（ソニー）	42 点	(9試合)
6	中畠　嘉之	（トヨタ紡織九州）	50 点	(9試合)	植垣　暁恵	（メイプルレッズ）	42 点	(9試合)
7	志慶真龍我	（琉球コラソン）	47 点	(9試合)	髙橋　恵	（ソニー）	40 点	(9試合)
8	小澤　広太	（大崎電気）	46 点	(10試合)	髙田　裕梨	（オムロン）	38 点	(9試合)
9	豊田　賢治	（大崎電気）	44 点	(10試合)	藤井　紫緒	（オムロン）	38 点	(7試合)
10	村上　秀行	（トヨタ紡織九州）	40 点	(8試合)	洪　廷昊	（オムロン）	37 点	(9試合)
					桂　裕美子	（バイオレットアイリス）	37 点	(9試合)

シュート率　（フィールド得点ベスト10を対象）

1	末松　誠	（大同特殊鋼）	73点/101射	0.723	高栖　由香	（ソニー）	42点/ 48射	0.875
2	志慶真龍我	（琉球コラソン）	47点/ 77射	0.610	横嶋かおる	（北國銀行）	54点/ 69射	0.783
3	村上　秀行	（トヨタ紡織九州）	40点/ 66射	0.606	洪　廷昊	（オムロン）	37点/ 62射	0.597
4	小澤　広太	（大崎電気）	46点/ 77射	0.597	髙田　裕梨	（オムロン）	38点/ 66射	0.576
5	門山　哲也	（トヨタ車体）	71点/121射	0.587	上町　史織	（北國銀行）	58点/ 101射	0.574

７ｍスロー得点

1	銘苅　淳	（トヨタ車体）	18 点	(10試合)	上町　史織	（北國銀行）	21 点	(9試合)
2	村山　裕次	（琉球コラソン）	16 点	(9試合)	藤井　紫緒	（オムロン）	17 点	(7試合)
2	藤山　岳士	（トヨタ紡織九州）	16 点	(9試合)	植垣　暁恵	（メイプルレッズ）	15 点	(9試合)
4	東長濱秀作	（湧永製薬）	12 点	(8試合)	菅谷　美奈	（ＨＣ名古屋）	14 点	(9試合)
5	豊田　賢治	（大崎電気）	11 点	(10試合)	髙橋　恵	（ソニー）	11 点	(9試合)
5	森光　勇太	（豊田合成）	11 点	(10試合)	伊藤亜衣美	（バイオレットアイリス）	11 点	(9試合)

７ｍスロー阻止率（７ｍスローを受けた数が、チームの試合数以上のＧＫが対象）

1	坪根　敏宏	（トヨタ車体）	8本/ 14射	0.571	勝田　祥子	（オムロン）	6本/ 13射	0.462
2	有江　啓	（北陸電力）	4本/ 10射	0.400	家城　千香	（ＨＣ名古屋）	8本/ 19射	0.421
3	東　直明	（大同特殊鋼）	4本/ 11射	0.364	浅井友可里	（バイオレットアイリス）	4本/ 13射	0.308
4	東　佑三	（大崎電気）	5本/ 14射	0.357	近藤　澄江	（ＨＣ名古屋）	5本/ 17射	0.294
5	藤田　東吾	（豊田合成）	3本/ 10射	0.300	堂面　妙子	（メイプルレッズ）	4本/ 14射	0.286

選手・役員登録情報

◇ＨＣ名古屋

№26 柳田　紗緒里　1989.4.3　164cm 59kg　左　岡富中→宮崎学園高→日本ウェルネススポーツ専門学校

※出場可能日：2009/12/05

第34回日本ハンドボールリーグ成績表　第12週終了　11月28日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	大崎電気	トヨタ紡織九州	湧永製薬	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 ○ 23	24 ○ 19	35 ○ 29	32　29 ○　○ 26　25	48　40 ○　○ 24　19	35 ○ 24	36　40 ○　○ 23　24	10	10	0	0	20	349	236	113
2	トヨタ車体	23 ● 30		25　30 ●　○ 36　22	27　31 ●　○ 28　30	32 ○ 30	30 ○ 24	33　30 ○　○ 23　27	28 ○ 17	10	7	0	3	14	289	267	22
3	大崎電気	19 ● 24	36　22 ○　● 25　30		30　28 △　○ 30　26	21 ● 28	43 ○ 18	34 ○ 27	28　24 ○　○ 24　18	10	6	1	3	13	285	250	35
4	トヨタ紡織九州	29 ● 35	28　30 ○　● 27　31	30　26 △　● 30　28		23 △ 23	40 ○ 21	36 ○ 28	30 ○ 23	9	4	2	3	10	272	246	26
5	湧永製薬	26　25 ●　● 32　29	30 ● 32	28 ○ 21	23 △ 23		39 ○ 23	37 ○ 26	35 ○ 17	8	4	1	3	9	243	203	40
6	豊田合成	24　19 ●　● 48　40	24 ● 30	18 ● 43	21 ● 40	23 ● 39		22　33 △　○ 22　29	22　24 △　○ 22　17	10	2	2	6	6	230	330	−100
7	琉球コラソン	24 ● 35	23　27 ●　● 33　30	27 ● 34	28 ● 36	26 ● 37	22　29 △　● 22　33		33 ○ 29	9	1	1	7	3	239	289	−50
8	北陸電力	23　24 ●　● 36　40	17 ● 28	24　18 ●　● 28　24	23 ● 30	17 ● 35	22　17 △　● 22　24	29 ● 33		10	0	1	9	1	214	300	−86

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25　21 ●　○ 30　19	27　36 ●　○ 28　21	23 ○ 16	33　36 ○　○ 17　15	40　37 ○　○ 11　14	9	7	0	2	14	278	171	107
2	北國銀行	30　19 ○　● 25　21		33　23 ○　● 27　31	29　30 ○　○ 21　18	34　31 ○　○ 28　22	37 ○ 16	9	7	0	2	14	266	209	57
3	ソニーセミコンダクタ九州	28　21 ○　● 27　36	27　31 ●　○ 33　23		32　35 ○　○ 20　28	45 ○ 26	42　42 ○　○ 15　20	9	7	0	2	14	303	228	75
4	三重バイオレットアイリス	16 ● 23	21　18 ●　● 29　30	20　28 ●　● 32　35		27　21 ●　○ 28　15	30　31 ○　○ 15　16	9	3	0	6	6	212	223	−11
5	広島メイプルレッズ	17　15 ●　● 33　36	28　22 ●　● 34　31	26 ● 45	28　15 ○　● 27　21		36　33 ○　○ 20　13	9	3	0	6	6	220	260	−40
6	HC名古屋	11　14 ●　● 40　37	16 ● 37	15　20 ●　● 42　42	15　16 ●　● 30　31	20　13 ●　● 36　33		9	0	0	9	0	140	328	−188

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
　同勝点の場合は、1.対戦間勝点　2.対戦間得失点差　3.総得失点差　4.総得点　の多い順で順位付けしています。